

平成23年度 教員養成、採用、研修に関する各学科、各課程の取り組み

国文学科教員採用試験対策勉強会の取り組み

文学部国際言語・文化学科（旧国文学科）

准教授 高木伸幸

国文学科では、本年度も、昨年度に引き続き、教員採用試験（国語科）対策勉強会を開きました。大分県の採用試験過去問題等を解き、その解法を学び、国語科の専門試験に対応できる学力を身につけることが目的です。今年度はややスタートが遅れ、5月24日（水）に第一回を行いました。以降、7月15日（金）まで週一回のペースで実施しました。参加者は毎回3、4名程度で少しさみしく感じられましたが、その分、参加した学生は熱意をもって取り組んでいました。次年度は多くの参加者による活気ある勉強会が開かれることを期待しています。

史学・文化財学科の取り組み

文学部史学・文化財学科

教授 松森武嗣

本学科の「教員採用試験対策勉強会」は、顧問教員のアドバイスを受けながらも、「主体性」「連携」「継続性」の基本方針のもとで、中学・高校教員を目指している史学・文化財学科所属の有意な学生が参加し運営している勉強会です。

立ち上げ3年目である平成23年度の活動状況としては、「基礎力養成」として、日本史と世界史の各『30日完成問題集』を、学生の輪番制で1単元項目ごとの問題の解答・解説と質疑応答を実施してきました。また、12月の歴史能力検定試験の受検も実施しました。

今年度は、みんなの話し合いで決まったことでしたが、勉強会を1限目授業の前（午前8時から）に設定したために、参加者が減少し続けたことが反省材料です。

国際経営学科の取り組み

国際経営学部国際経営学科

准教授 高木正史

別府大学に国際経営学部が誕生して3年目を迎え、本学部で取得可能な教員免許状は、高校商業・公民・情報および中学社会の4教科に登る。そして、平成23年度からは、これらの教員免許状取得を志す学生達が、来るべき平成24年度における教育実習に備え、熱心に授業研究を行なっている。そのような中、平成23年7月に、大分県立大分商業高等学校より、新任教員の初任者研修の一貫として新規に同校に着任した、同校教諭、小幡さゆり氏を本学部を受け入れ、研修の機会を提供した。具体的には、小幡教諭に筆者の講義（含、商業科教育法Ⅰ）・ゼミおよび筆者の主催する研究会に参観・参加してもらった後、小幡教諭と商業高校における生徒の大学への進学可能性に関する問題等について、筆者、学生を交えて徹底的に討議した。これを端緒として、本学部では、高校と大学との連携を重視した教員養成への取り組みを、積極的に進めていきたい。

別府市立浜脇中学校学習支援ボランティア

文学部教職課程

准教授 瀬戸口昌也

教職課程では、別府市立浜脇中学校からの要請により、浜脇中学の生徒に対して定期テスト前の数日間、第5期模擬授業の会の委員を中心に教職課程を履修している大学生数名で、放課後学習の支援を行った。平成23年度における期日とそのボランティア数を挙げれば、以下の通りとなる。

平成23年6月27日（月）：5名、28日（火）：2名

平成23年10月17日（月）：3名、18日（火）：3名

平成23年11月28日（月）：4名、29日（火）：3名

平成24年2月20日（月）：6名、21日（火）：6名

昨年度実績よりもボランティア数が増えていることがわかる。昨年度実績を本冊子の前号に掲載している。参照して欲しい。